

「人」と「人」が交わるフリーマガジン

KRPPRESS 3

2014
vol.135
MARCH

特集 「KRPP営業技術部」

KRP地区の安全・安心・快適を守る。

イベントレポート E2技術連携フォーラムin博多



KRPP

KRP地区の 安全・安心・快適を守る。

敷地内に15棟のビルが建ち並び、
約300社が活動するKRP地区。
皆さまの快適な「日常」を陰で支える
営業技術部の取り組みをご紹介します。

「安全・安心・快適」は
常に変わらぬ我々のモットーです。

営業技術部は、ビル管理チーム・技術管理チームの2つの部門から成り、部門ごとに役割は少しずつ異なりますが、互いに連携を取り、一丸となってKRP地区全体の「安全・安心・快適」な環境の維持と向上をモットーとし、業務に取り組んでいます。我々の業務は、KRP地区全体を支えるエネルギーの安定供給、設備改修などの大きなことから、電球交換や空調機器の点検整備など細かいことまで多岐に渡ります。幅広い業務を、迅速かつ的確に対応できるよう各スタッフの資格取得を推進し、設備管理のプロフェッショナルの育成に力を入れています。KRP地区内は、ITから製薬、ものづくりなど、多

くの業種の方がご入居されています。そのため、各ビルごとの設備だけでなく、それぞれの入居企業さまが借りるスペースごとにも細かく仕様が異なります。ときには、実験研究スペースの入居工事で最新の技術や知識が必要となることなどありますが、どんな時も要望を最優先に、不可能な場合も最善の代替案を用意するなど努力は怠らないよう心掛けています。

開設25年を迎えるKRP地区ですが、我々の方針に変わりはありません。今後も、建物施設の維持・管理、改修を進めながら、常に安心して事業に取り組んでいただける環境をご提供し続けていきたいと思えます。

営業技術部長 岸本 央央 氏

入居企業さまそれぞれに寄り添うサービスの提供を心がけています。



KRP 営業技術部のご紹介 1

技術管理チーム

KRPでは、地区内で使用されるエネルギーを西地区と東地区それぞれに設置しているプラントから供給しています。それらのプラントの運転・操業管理、保守点検管理、工事管理を担当。作業そのものが人の目に触れることはほとんどありませんが、エネルギー供給はKRP運営の要と心得て、業務に取り組んでいます。また、ガスコージェネレーションシステム^(※)を利用した運転計画の立案により、さらなる省エネ・高効率運転の実現に向けて、努力を重ねています。

※都市ガスを燃料に発電し、同時に発生する熱エネルギーを空調などに利用するシステム。

人目につかない地下施設内での作業が多いですが日夜頑張っております！



COMPANY INTERVIEWS

強固な設備と柔軟な対応 KRPデータセンターを活用しています。

株式会社
フューチャースピリッツ
Future Spirits

KRPのデータセンターの魅力は、まず本社から走って20秒でたどり着ける場所にあること、停電時に48時間以上稼働できるデータセンター用の非常用発電機があること。そして何より、営業技術部の技術担当者が真摯に相談に乗ってくれ、綿密な打ち合わせを行うことで、こちらの要望について柔軟かつ安全に対応いただけることです。弊社のメイン事業「ホスティング(レンタルサーバ)」をご利用のお客さまのニーズに素早く対応できる環境を整えることができ、当

社の強みとなっています。また、営業技術部の皆さんとは普段からやり取りをしているので、何か困ったときは、すぐに誰に相談をするかが思い浮かび、安心感がありますね。こちらから連絡をする前に提案をいただくこともあり、実はITこそ「人」が大切だと感じます。弊社は、お客様のサーバをお預かりする「縁の下の力持ち」。であれば、営業技術部さんは「縁の下の力持ちの下の力持ち」です。

(株)フューチャースピリッツ
ソリューション本部 本部長 河本 暁宏 氏



東和薬品株式会社

安心して実験に集中できる環境を 一緒に作り上げてくれています。



KRP内に開設した京都分析科学センターのコンセプトは「魅せる研究所」。医療・教育関係者、マスコミの見学を受け入れる開かれた研究所です。当研究所の設計段階では、「魅せる」ための工夫や仕様に加え、研究所としての排気や給排水、電源容量など研究内容に応じた要求はもちろん、実際にここで実験や研究を行う研究員にもさまざまな要望がありました。営業技術部の皆さんとは、

東和薬品(株)
研究開発本部 医薬分析部 GE科学評価チーム
課長 立木 秀尚 氏

施工業者とのやりとり時の同席はもちろん、何度も打ち合わせを重ねました。また、その間に信頼関係が深まったことで、入居後は安心して実験に携わることができています。皆さんのきめ細かなサポート、迅速なトラブル対応には何度も助けられています。何か困ったことがあっても、一本連絡を入れるとすぐに担当の方から連絡をもらえる対応の早さは安心感に繋がっています。安定した電力供給などのハード面以上に、安心して実験ができる理由がかもしれませんね。



KRP 営業技術部のご紹介 2

ビル管理チーム

KRP地区内の建物そのものと、ビルに付随する設備の管理を担当しています。入居時には、要望に合わせた部屋の改造や設備の改修を行い、退去時の原状回復工事も担当します。また日々の業務としては、建物・設備の不具合の改修、古くなった設備の更新、そしてトラブルを未然に防ぐための点検や整備などがあり、それらを通して入居企業の皆さまはもちろん、利用される方すべてが安全・安心・快適に過ごせる施設環境の維持・向上に努めています。

お客さまの要望をしっかりヒアリングし、素早く的確に対応できるよう努めています！



安全・安心はもちろんのこと、利用する方それぞれに快適な環境を提供。
トラブル時にも迅速な対応でKRP地区を支えるのは「人」の力です。

機械だけではどこか不安な防犯・防災監視を
有人の管理センターで24時間365日フォロー。

365日有人管理で安心

KRP地区内には、東西2箇所
に有人の管理センターを設置
しています。24時間365日、
合計15棟のビルの管理および
監視を行い、常時セキュリティ
の確保、及び快適環境の提供
ができるよう努めています。



密なコミュニケーションをとること、
「営業」を名に掲げる技術部のポリシー。

営業担当と技術担当の連携が とれており、素早い対応ができる

営業技術部という部署名の
通り、営業的な役割を忘れない
ことがポリシーのひとつです。密
なやりとりをモットーに、入居企
業それぞれに異なる希望や改
善要望には、迅速かつきめ細や
かな対応を心がけています。

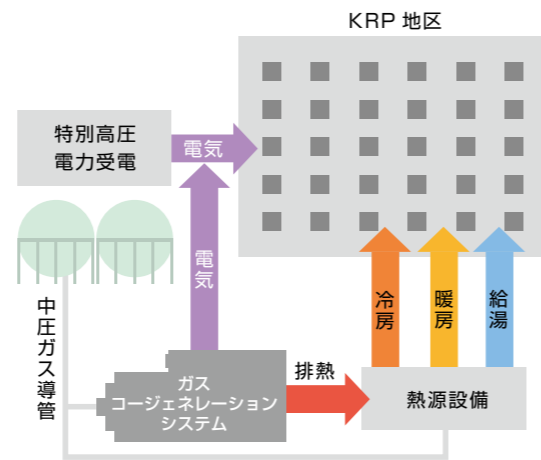


特別高圧電力やガス空調が支えるKRP地区の安定したエネルギー環境。

安定性をさらに向上させる新しい技術の導入は
緻密なプランのもと着実に遂行。

安心&スマートなエネルギーシステムへ

KRP地区の安定したエネルギー環境は、商用の特別高圧電力(7万
7千ボルト)や、阪神大震災でも途絶えることのなかった中庄ガス導管
から送られる都市ガスを利用した空調エネルギーの供給によるもの。
営業技術部では、それらを支える大規模なプラントの設備管理に加え、
エネルギー供給の安定性と災害への対応力をより高めるため、設
備改修や新しい機器の導入も進めています。2012年度に実施したガ
スコージェネレーションシステムのジェネミックス(異機種連系)は、先
導的事例として2013年コージェネ大賞の優秀賞を受賞しました。



その他の良い所

- ・ラボ入居時に柔軟な対応が可能
- ・AED講習や避難訓練などを実施
- ・防火・防災管理のアドバイス
- ・ビル管理の検査を順守し、快適な環境を提供

KRP 営業技術部のご紹介 3

防災担当(ビル管理チーム)

消防法に定められた、KRP地区の防火・防災管理体制の確立
や維持を担当しています。また、防火・防災に関わる設備の管理
や点検、補修を行い、KRP地区内で発災した際には被害を最小
限に留めるよう、普段から訓練・広報活動に取り組んでいます。
入居企業さまにも参加していただく防災訓練やAED設備の講
習会を定期的で開催しています。KRPが安全・安心な地区であ
り続けることを当然のこととして、日々のメンテナンスや利用され
る方への「万が一」への注意喚起を行っていきます。

防災設備の管理・点検・補修や
災害に備えた訓練も行っています。
その際はご協力お願いいたします!



イノベーションイニシアティブ E2技術連携フォーラム in 博多 ～エレクトロニクス・エネルギーシステム関連企業連携を一步先へ～

日時: 2014年1月21日(火) 13:00~17:00(交流会 17:10~)
会場: TKP ガーデンシティ 博多アネックス「ジュピター」の間
主催: KRP(株)、NPO法人半導体目利きボード(デバイス実装研究会)
共催: 九州半導体・エレクトロニクスイノベーション協議会(SIIQ)
後援: 福岡先端LSI開発拠点推進会議

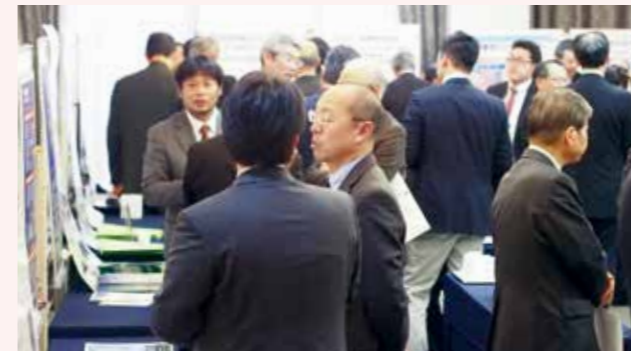
関西拠点のエレクトロニクス関連技術を誇る “ニッチ・トップ企業”と九州企業との 連携・ビジネスの交流機会

近畿経済産業局が推進する「次世代エレクトロニクス・エネ
ルギー技術産業創出プロジェクト」の一環として、KRPでは平
成23年度より「イノベーションイニシアティブ(I2)事業」を実
施している。これは地域のイノベーション創出を牽引する「グ
ローバル・ニッチトップ企業」を関西圏から輩出しようとする
もので、今回のフォーラムは本事業の広域連携企画の一つと
して開催した初企画。九州圏企業との技術連携を構築すべく
本事業のネットワーク企業の中から10社が出席し、うちトッ
プレベルのシェアを誇る『尾池工業(株) / 京都府京都市』、
『紀州技研工業(株) / 和歌山県和歌山市』、『(株)コムラテック / 大阪府大阪市』、『日本電子精機(株) / 奈良県香芝市』の
4社が発表を行った。基調講演には、トヨタ自動車九州(株)



E2技術連携フォーラム講演風景

R&Dセンター 主査の緒方光氏が登壇。同社の歴史や地場産
業との連携事業紹介、また地域と共に発展することの重要性
を語った。参加人数83名、参加企業は九州の企業を中心に
34社。NPO法人半導体目利きボードの理事長を務める福岡
大の友景肇教授は、閉会の挨拶として「発表を行った4社は
優良企業でありながら、全国的にはまだまだ名前が知られて
いない。こういう企業と出会える機会はなかなかないので、ぜ
ひ仕事に繋げていけたら」と述べた。多くの参加者を集めた本
フォーラムは終了後の交流会まで活発な情報交換が行われ、
盛況のうちに幕を閉じた。



イノベーションイニシアティブ企業10社によるポスターセッション

次ページ EVENT REPORT 2 「I2事業実施報告フォーラム」

INTERVIEWS

九州企業の積極的な 姿勢に好感触。

関西を拠点とする弊社にとって、接点
の少ない九州の半導体関連の企業や、
研究・支援機関の方と知り合うことがで
き貴重な場となった。事業の幅を広げて
いきたいと考え
ているため、情
報交換しながら、
協働させてもら
えればと思う。



尾池工業(株)
取締役 技術本部 本部長 山本 真也 氏

ニーズとシーズを持ち寄り、 連携の可能性を探りたい。

我々にとって、九州の中だけで対処で
きない取り組みもあるので、これを機に
関西の企業とうまく連携できればいいと
思うし、気になる企業にも出会えた。今
回はニーズより
シーズの話が中
心だったが、共
に何ができるの
か見える会にな
れば嬉しい。



(株)ひびきのシステムラボ 代表取締役 /
NPO法人半導体目利きボード 副理事長
片岡 弘行 氏

広域連携を強化し、 地方の産業活性化へ。

広域連携事業は各地の経済産業局
の重要な課題。今回、事業3年目で
初実施でき、ポスターセッションの盛況
ぶりからも各参加企業の前向きさを感じ
た。広域連携を
強化し、企業活
性化のお手伝い
をし、日本全体
の産業振興に繋
げていきたい。



経済産業省 近畿経済産業局 地域経済部
次世代産業課 推進第一係長 石村 真也 氏

イノベーションイニシアティブ 事業実施報告フォーラム

近畿地域のエレクトロニクス事業創出を目指した
3年間の活動成果をもとに今後を展望

日時：2014年2月6日(木) 14:00～17:05(交流会17:10～)
会場：KISTIC2階イノベーションルーム
主催：KRP(株)



成功事例として、機能表面処理事業で海外でも事業展開するメテック(株)が「レアメタル代替部品 スペキュラム合金めっきについて」と題して報告をした。

大阪大学大学院工学研究科の舟木剛教授からは、得意分野の異なる企業同士で実装技術と一体化した研究開発や品質保証など、近畿地域の強みを生かすとともに経験や技術の理論的な裏付けも必要と、今後のパワーエレクトロニクス研究開発における方向性が示された。会場では、近畿ニッチトップのネットワーク企業によるポスター展示も行われ、フォーラム終了後の交流会まで活発な意見交換がなされた。



併催の近畿地域ニッチトップ企業ポスター展。名刺交換や意見交換など参加者同士が交流した。

平成23年度からの取り組み「イノベーションイニシアティブ(以下I2)事業」が事業開始から3年を経過し、活動のまとめと参加企業による成功事例の報告を行い約50社の参加者が集まった。関西の電子・エネルギーシステム関連の技術を、産学公の連携によって高度化し新事業・産業を生み出そうというI2事業は、近畿経済産業局による「プロジェクトNEXT」(次世代エレクトロニクス・エネルギー技術産業創出プロジェクト)の一環。「グリーンイノベーションを牽引するための次世代のエレクトロニクス・エネルギーシステム関連産業における新事業創出」をテーマに、有望なプロジェクト・テーマ探索やプレーヤー発掘のための研究会、情報提供、海外ビジネス展開支援などの活動を展開してきた。

近畿経済産業局地域経済部次長の森口悦光氏の来賓あいさつにはじまり、フォーラムでは導電・絶縁材料のパイオニアであるナミックス(株)の嶋田勇三執行役員が「エレクトロニクス実装技術の発展および最新技術/業界動向と今後の展望」と題して基調講演。福田金属箔粉工業(株)は、江戸時代以来の伝統産業を基に産学連携によってハイテク分野で事業創出した成功事例として、「導電層形成材料としての亜酸化銅ナノインクの開発」について発表した。また、産学連携による研究開発の

NEWS (公財)京都産業21 マッチングを支援する『製品開発型京都企業ガイドブック』

知財取得状況や産学公連携ニーズまで最新情報を掲載
174社を1冊にまとめたVer.4(2014年版)を発行

KRP東地区京都府産業支援センター内の(公財)京都産業21は、設計能力をもち自社製造による製品の販売実績がある京都府内の「製品開発型京都企業」を紹介するガイドブックの最新版を作成した。製品・技術のユーザーや企業・大学・研究機関とのビジネスマッチング、技術連携などの機会創出に活用し、製品・技術の販路開拓、イノベーションの促進を支援するもの。最新の企業の状況を掲載すべく、2012年の発刊から毎年更新に努めている。Ver.4は1000部作成され、2月の「京都ビジネス交流フェア2014」のほか首都圏の展示会や大学、中小企業基盤整備機構近畿本部などの支援機関、コーディネーター会議などで配布、ビジネス化につながる幅広い活用が期待されている。

※ウェブサイトでも同ガイドブック掲載内容を公開中 <http://www.ki21.jp/seihin/>



ガイドブック作成に携わる同財団、同財団北部支援センター、京都府中小企業技術センターの皆さん



サイエンス・サポーター株式会社
(4号館 3階 ITEC)

代表取締役 青野 友親 氏

1984年生まれ、愛媛県出身。工業高等専門学校卒業後、京都大学大学院でライフサイエンス分野の産学官連携のマネジメントや知的財産マネジメントについて学ぶ。民間企業の研究開発職を経て、母校京都大学大学院の知的財産経営学分野の助教と産学創業プロジェクトの知的財産マネージャーとして業務に従事。2013年11月に起業。

自分だからこそ言えられる何かを探して。

小さな頃からもの作りが好きであったこと、そして、自然科学への興味から高専へ進学しました。しかし、高専生は技術者になるという従来の決まりきった考え方が、どこかしっくりこなかったのです。「技術者にこだわらず、それ以外の新しい道があっても良いのではないだろうか」と。優秀な研究者は世の中にたくさん居て、アイデアや研究成果も多く存在しているはず。であれば、自分が必ずしも研究をする必要はない。そして、自分にできることを模索した結果、研究者のアイデアや研究成果の実用化の部分に携わる事ができれば何かおもしろいことができるんじゃないか!と考えるに至りました。そんな時、MOT(Management Of Technology: 技術経営)という分野に出会い、調べているうちに京都大学の医学研究科にある知的財産経営学分野へと行き着いたのです。「自分がやりたいことはこれだ」と確信を持って、進学することを決めました。

大学院では、ライフサイエンス分野の技術経営学、産学官連携及び知的財産のマネジメントに必要な法律や契約、医学及び医薬関連ビジネス、アントレプレナーシップ等を学びました。そして民間企業、京都大学とアステラス製薬との協同創業プロジェクト(AKプロジェクト)など、産学双方の組織で研究活動を行い、さらに知財マネージャーとして産学連携や知的

財産業務に携わり研究者のサポートを行ってきました。

日本の優秀な研究者をサポートするために。

これらの経験を経るなか、徐々に日本の研究者の研究環境や産学官連携の在り方に疑問を感じるようになりました。日本では革新的な研究成果が生まれる度に国やマスコミ、社会が日本の科学技術を賞賛します。しかし、これらの成果は、国の研究支援が不十分な中、決して恵まれているとは言えない研究環境で研究者の努力によって生まれたものが少なくありません。そんなとき、国の支援が不十分であれば、社会がエンジェル投資家(サポーター)として研究者をサポートする仕組みがあってもよいのではないかと考えたのです。そして、研究者と社会の距離を縮めて、お互いが必要とするリソースを補完し合える新しい仕組みができれば、世の中をより良い方向に持っていけるのではないかと感じたのです。その想いから起業を決意しました。サイエンス・サポーター株式会社では、研究者の研究資金の獲得の支援、そして研究者と事業の橋渡しをインターネット上で展開し、研究者に研究費が渡る仕組みと社会に研究者のアイデアや研究成果が還元される仕組みを作ります。

KRP地区の存在はいつも五条通を通って通勤していたことから知っていました。そして、多数の企業が入居していることや、運営元が営利組織であることから本気の支援が期待できると考え、創業の場とすることに決めました。まだまだ駆け出しの起業家ですので、周囲に起業家の先輩方がいらっしゃるの大変心強く感じています。また、さまざまな業種の方との出会いも多く、KRP地区内の企業さんとのコラボレーションもさっそく始まりそうで、KRPを創業の場に選んで良かったと思っています。弊社のビジネスによって研究者の自由なアイデアが研究成果に結びつくよう、そして、その研究成果がイノベーションに繋がるようにサポートしたいと思います。

Newcomer

新しい入居企業様の紹介

4号館ITEC



サイエンス・サポーター株式会社

研究成果の事業化、産学官連携、技術移転及び知的財産のマネジメント等をサポートいたします。また、併せて産学官連携に関するマッチングポータルサイトを展開し、アカデミアの研究成果の実用化やイノベーション創出の促進をサポートいたします。

サイエンス・サポーター株式会社
青野友親 代表取締役

●TEL/075-963-5164
●FAX/075-315-9070
●MAIL/info@science-supporter.com

6号館2階



株式会社フォーダブル

・女性の求人サイト運営(女性のためのアルバイト求人サイト「DOO」 <http://doo.jp>・女性の転職サイト「フォーダブル転職」 <http://fourw.jp>)
・20代女性のWEBマガジン「vee」運営 <http://vee.jp>
その他モバイル教育・研修支援サービス等



株式会社フォーダブル
藤平祐司 代表取締役

●TEL/075-874-1056
●FAX/075-320-2705
●MAIL/fujihira@fourw.co.jp
<http://www.fourw.jp/>

1/28
産学

クリエイティブ・テーブル

『伝統とデザインー協業から生まれるものづくりのこれから』



多方面で活躍するクリエイターの方々を招き、ともに語り、双方向のコミュニケーションを体験することで、つながりの深いものづくりの場を共有する「クリエイティブ・テーブル」。1月は、富山県の鋳物メーカー「高田製作所」の高田晃一氏とセメント・プロデュースデザインの金谷勉氏を招き、これまでに取り組んできた工芸とデザインの協業についてパネルディスカッションが行われた。参加者は70名を超え、産地・マーケティング・収益モデルなど多岐に渡る意見交換が行われた。

詳しい内容は
WEBでチェック!



[産学]……産学公連携部
[成企]……成長企業支援部
[営業]……営業部

- 成長企業支援部 <http://www.krp.co.jp/sks/>
- 町家日記 <http://www.krp.co.jp/machiya/blog/>
- 産学公連携部 <http://www.krp.co.jp/sangaku/event/>

2/7
成企

第37回 宇治ベンチャー企業 育成工場セミナー

モノづくり企業『元気経営のヒミツはこれだ!!』



「日本一明るい経済新聞」の編集長である有限会社産業情報化新聞社の代表、竹原信夫氏を招き、宇治市産業振興センターにて無料セミナーを開催。年間約500人の中小企業経営者を取材するなかで蓄積した「元気な会社、元気な経営者の共通点」について講演頂いた。

2/8
営業

注目のWeb最新言語 Dartを学ぶ 「Dart Flight School Kyoto」

Dart

GDG Kyoto

京都リサーチパークで誕生した
開発者コミュニティ GDG京都が開催



Googleが開発したWebに適した最新のプログラミング言語「Dart v1.0」のローンチにともない、世界中で同言語を学ぶためのイベント「Dart Flight School」が開かれた。国内では、GDG京都が初めてKISTIC(KRP東地区)にて開催し、学生やWeb開発に携わる20名が集まった。Dartでの開発方法について、入門のテックトークや実技のコードラボなどセッションを行った。

2014年度活動サポート 申請受付中!

KRP地区内の入居者さま同士の交流がより促進されるサークルや勉強会などの活動について、活動資金補助や会議室提供など、活動が活発になるようサポートしています。現在、2014年度のサポート対象サークルを募集中です。活動中の方も、新しく作りたい方も、一度ご相談ください。



会員募集のサポート

KRPのWebサイトやメールマガジン、Facebookなどで会員募集のお手伝いをします。

活動資金のサポート

対象: 勉強会の講師料、お茶代、スポーツサークルの消耗品、練習場代、会場費・共用備品、案内制作費等

KRP小会議室を 無料提供

1サークル上限月2回まで

スポーツサークル 会員対象の運動指導

「コ・ス・パ京都リサーチパーク」と提携 ※幹事の方には、コ・ス・パ無料体験チケットもお渡しします。

お問い合わせ/京都リサーチパーク(株) 営業企画室 あねるサービス事務局
Tel:075-315-8342 E-mail:tabaneru@krp.co.jp
申請書・応募要項/ <http://www.krp.co.jp/tabaneru/circle/index.php>

SHIMOGYO NAVI

京都リサーチパーク地区から見た京都、下京区にスポットをあて、お届けします。

KRPから歩いて行けるお花見スポット 「梅小路公園～朱雀の庭・いのちの森～」

KRP地区から南東へ徒歩約15分のところにある梅小路公園。その中にある「朱雀の庭」は、京都の作庭技術・技法の粋を結集して作られた池泉回遊式庭園です。春は桜の他、様々な花々が目を楽しませてくれます。また「朱雀の庭」とつながっている「いのちの森」の新緑も是非見ていただきたいポイント。春を心待ちにしていた木々が一斉に新芽を出し、自然の生命力を空中通路から間近に感じていただけます。



梅小路公園: アクセス/ 京都駅中央口より塩小路通を西へ徒歩約15分
朱雀の庭・いのちの森共通入園料: 1人200円(小学生以上)
開園時間: 午前9時～午後5時(入園は4時30分まで)

<http://www.kyoto-ga.jp/umekouji/index.html>

配送・停止・変更のご希望は、
右記内容を明記の上
krppress@krp.co.jpへ

配送
停止

- ① 〒、住所 ② 団体名 ③ 部署名 ④ お名前 ⑤ TEL/FAX ⑥ メールアドレス ⑦ 「配送希望」 ※定期配送も可能です
⑧ ご登録No.(封筒宛名ラベル右下) ⑨ 「配送停止希望」

変更

- ①～⑥のうち変更箇所と⑧のご登録No.

vol.135
March
2014

KRPPRESS www.krp.co.jp

○ 編集・発行/ 京都リサーチパーク株式会社 〒600-8813 京都府京都市下京区中堂寺南町134番地 (ASTEM棟4階)
TEL: (075) 315-8342 FAX: (075) 322-5348
○ 編集長/ 鈴木 和哉 ○ 取材・編集・デザイン・制作・印刷/ 株式会社情通レゾナンス ○ 配送管理/ 有限会社セクレタリアット

KRP News Mail 配信中

毎月第2・4火曜配信
<http://www.krp.co.jp/pub/maga.html>